

# 思いきつなぐ

# 久慈秋まつり



9月17日、晴れ渡った空の下、展示方式による1日限りの久慈秋まつりが、中心市街地で開催され多くの人が来場しました。令和4年度は、山車が6組とみこし2組が参加。手づくりの山車を近くでじっくり眺める人や写真撮影する人で、大いに盛り上がりました。

各組が、3年振りの思いのこもった首頭上げやお囃子、威勢のいい声でみこしを披露すると、会場から大きな拍手が送られました。



上組の川原秀一組頭は「秋まつりを迎えることができ、うれしく思う。例年通りの運行ができれば良かったが、見方を変えれば初めての方法で思い出に残る祭りになったと思う。山車製作は直前までかかり、出発する合図を聞いたときは、込み上げるものがあつた。秋まつりは、先人がやってきた思いや事柄を受けて、次の世代に受け継がなければならぬ。来年はいつも通りの開催ができることを願っている」と思いを語りました。

